

7	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	13854005	放線菌の二次代謝、形態分化の開始を司る制御系の統括的解明	堀之内末治（東京大学・大学院農学生命科学研究科・教授）	A
<p>(意見等)</p> <p>放線菌の二次代謝と形態分化が自ら産生する因子A-ファクターに制御されている機構の解明に関して、A-ファクター特異的レセプターに始まる多数の転写調節因子が関わるカスケード状の信号伝達系の全容並びにレセプタータンパク質の立体構造の解明等分子レベルでの成果は国際的にも高く評価されるものである。さらに、本研究では、このA-ファクター制御系と蛋白リン酸化及びcAMPによる情報伝達系との関わりについても残された点はあるが新しい知見を得ており、A-ファクター制御系の統括的解明に関して、ほぼ当初の目標を達成している。</p> <p>また、中間評価の際に指摘された応用的視点からの研究の展開に関しても、A-ファクター制御下の酵素遺伝子による非天然型フラボノイド化合物生産研究を行っている。</p>				
8	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	13854006	有明海の環境変化が漁業資源に及ぼす影響に関する総合研究	中田 英昭（長崎大学・水産学部・教授）	A
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、社会的に大きな注目を集めた有明海奥部の漁業生産の減少と赤潮多発の原因解明を目指したものである。本研究では、これらの現象を総合的な目で捉え、フィールドデータを丁寧にとり、長年の既往のデータとあわせて解析するという手法を適用することにより、埋め立てや堰の建設に伴う潮流の弱化和、それに伴う海水の濁度の低下がこれらの現象を生じさせた主原因であるという結論を導き出した。複合的かつ複雑な要因により惹起された現象の原因について、一定の結論を導き出したことは学術的価値があるものと評価できる。今後、他海域におけるこのような複合的かつ複雑な問題の解明にあたっての研究手法のモデルとなるものと期待される。</p>				